障がい者支援・えべつ２１プラン

子ども版

～みんなが自分らしく、安心して暮らせるまちづくり～

令和９(2027)年度～令和14(2032)年度







江別市

令和９(2027)年３月

『障がい者支援・えべつ２１プラン』ってなに？

（１）どんな計画？

障がいのある人もない人も、みんなが自分らしく、安心して一緒に暮らせる「江別市」をつくるための目標や取り組むことをまとめた計画です。

（２）だれのための計画？

江別市に住んでいる、すべての子ども・大人・家族のための計画です。

（３）どんなまちを目指すの？（基本理念）

障がいのある方の自立を
地域で支える共生社会の形成

わかりやすく言うと…

「みんなが差別なく、お互いを大切にしあい、地域で助け合って暮らせるまち」

を目指します。

（４）いつまでの計画？

令和９（2027）年度から令和14（2032）年度までの６年間の計画です。

江別市の子どもたちのいま

（1）支援を必要としている子どもの数

手帳を持っている18歳未満の子どもの数や、特別支援学級・通級指導に通う子どもの数が増えています。

（2）子どもたち・おうちの人たちのこえ（子ども向けのアンケートやヒアリングから）

● 子どもたちのなやみ・こまりごと

自分の気持ちや、やりたいことがうまく伝えられない

学校に行くのがしんどい

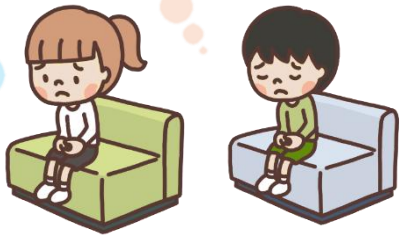
自分に自信がもてない

お友達に意地悪をされたり、いやなことを言われたりする

みんなと一緒の活動ができなくてつらい気持ちになることがある

家族や学校の先生にもっと話を聞いてほしい

周りの人に障がいのことを理解してほしい



● だれに相談している？

お父さん・お母さん（家族）や友達、先生などに相談しています。

● おうちの人（保護者）が望んでいること

一人ひとりの特性に合わせた保育や教育、お友だちとのかかわり方のサポート

障がいのあるなしにかかわらず一緒に過ごせる環境づくり

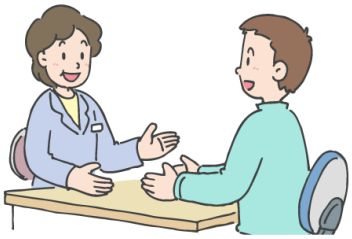
高校を卒業した後も途切れずに相談・サポートを受けられる仕組み

災害のときに安心して避難できる環境づくり

みんなで目指す「３つの目標」

【目標１】　いつでも相談できる場所をつくります

困ったときにすぐ相談できる場所をつくったり、病院・学校と力を合わせて、みんなを守る仕組みをつくります。

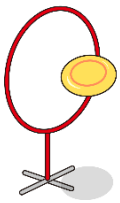


【目標２】　一人ひとりの元気な暮らしを支えます

自分に合った福祉サービス、働く場所、スポーツ、音楽や読書などを一人ひとりが楽しめるまちづくりを進めます。

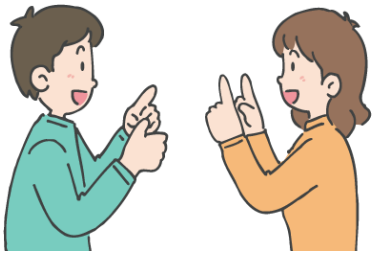




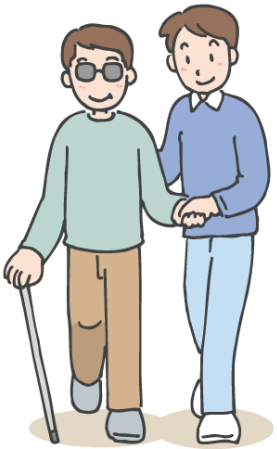


【目標３】　みんなが安心して暮らせるまちをつくります

障がいのある人のことをみんなでよく知って（こころのバリアフリー）、誰でも通りやすい道や建物にしたり、災害のときでもみんなが安全に逃げられるよう準備します。







これから進める「４つの取組」

（１）子どもの発達と学びのサポート



- 子ども発達支援センターなどの施設で、ことばや体の動き、お友達との関わりなどで困ったことがあったら、いつでも安心して相談できる場所を用意します。
- どんな子も、みんなと同じ教室で一緒に楽しく勉強できるように工夫します。



（２）医療やケアが必要な人への支援

- 病気や障がいがあって、特別なサポートが必要な人が、江別市で安心して暮らせるように、お世話してくれる人や、お休みできる場所を増やします。

（３）働くこと・自分らしく過ごすことの応援

- 大人になるときのサポート：高校を卒業した後や、18歳になった後も、困ったとき、いつでもずっと手伝い続けます。
- 働く準備のサポート：将来の夢や希望にむけて、学校やお店・会社の人達と一緒にお仕事の体験や準備ができるようにします。

（４）安全・安心に暮らせるまちづくり

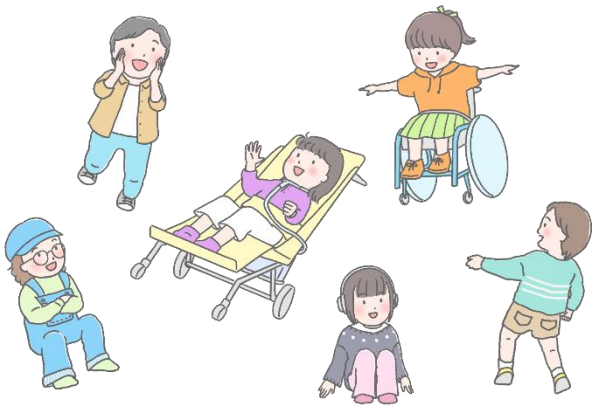
- 地震などの災害が起きても、みんなが安心して過ごせる場所をつくったり、まわりのみんなに障がいについて正しく知ってもらう活動をします。

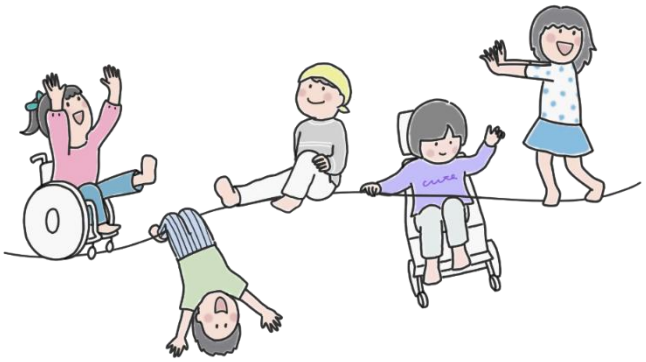
計画の実現にむけて

みんなの声を聴きながら進めます

障がいのあるなしにかかわらず、全ての子どもが元気にこのまちで暮らせるように、子どものみなさんの意見を聴きながら、大人も一緒に考えて、よりよい江別市をつくっていきます。







障がい者支援・えべつ２１プラン【子ども版】

発行　江別市子ども家庭部
住所　〒０６７－８６７４　江別市高砂町６番地
電話　０１１－３８１－１４０８
ＦＡＸ　０１１－３８１－１０７０